

第6回 小児がん中央機関アドバイザリーボード
2020/2/28

医療従事者育成事業 小児緩和ケアチーム研修会報告

余谷暢之

国立成育医療研究センター
総合診療部 緩和ケア科
小児がんセンター がん緩和ケア科
yotani-n@ncchd.go.jp

医療従事者育成事業 2018

- 小児緩和ケア診療の課題

- 成人緩和ケアチームとのコラボ

- 日本緩和医療学会WGで「緩和ケアチームの手引き」
に小児緩和ケアにおけるTIPSを加えた追補版を作成

- 小児専門施設での緩和ケア体制の充実

- 独自の研修会が必要⇒今回企画！

小児緩和ケアチーム研修 2019

- 対象

- 小児がん拠点病院 15施設

- 日本小児総合医療施設協議会 36施設

小児緩和ケアチーム研修会

PPC 24

Pediatric Palliative Care 24

2020.1.18.@ 品川



本研修会の目的

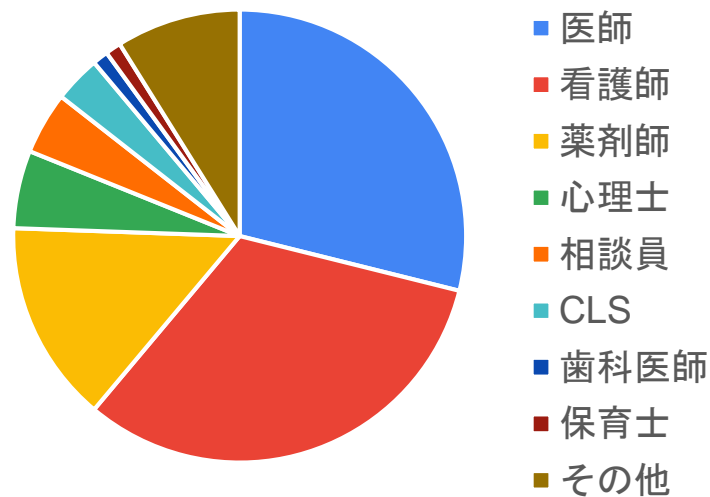
- 専門的小児緩和ケア診療のスキルを上げる
 - 症状緩和などより実践的な内容
- 小児緩和ケアのつながりを作る
 - 共有する場、ネットワークづくり
- 現状把握とこれからの研究の基盤を作る
 - ネットワークを生かしてこれからのを考える

研修会プログラム

時 間	プログラム
12:00-12:30	受付
12:30-12:40	挨拶・本日の案内
12:40-13:20	小児緩和ケアチームの現状を知る ・ 事前アンケートの結果 ・ 施設紹介 2施設
13:20-14:30	「こどもの症状の評価方法について考える」 ・ 各施設の実践を知る ・ グループワーク
14:30-14:45	休憩
14:45-16:30	症例検討 ・ 医師・看護師から症例提示 ・ グループワーク ・ 講義
16:30-16:50	これからに向けての取り組みを考える ・ 臨床面の取り組み ・ 研究面の取り組み
16:50-17:00	挨拶、修了書授与、アンケート記入

参加者 90人

医師	26
看護師	29
薬剤師	13
心理士	5
相談員	4
CLS	3
歯科医師	1
保育士	1
その他	8



研修会の評価 N=57

- 97%が全体を通じて満足との評価
- 症例検討はやや難易度が高い
- これからの取り組み
 - Webカンファレンス76%が参加したい
 - チーム研修会に92%が参加したい
 - データ登録に61%が参加したい

これから取り組むべき課題

- 研修会の継続
 - より実践的な内容を
 - 成人緩和ケアチームとのコラボを検討
- Webによる定期的なカンファレンス
- データ登録の方法
 - 成人のデータ登録を参考にデータの蓄積を